



**東日本大震災
心よりお見舞い
申し上げます。**



3月11日に発生しました東日本大震災により多数の方が被災されました。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

川西市も阪神淡路大震災を経験した市として、被災者支援に全力を挙げて取り組まれていますので、その内容について報告いたします。

応援派遣

発生日より救急消防援助隊が派遣され、すでに第6次隊まで活動中。(43名)

水道局応急給水応援派遣が第7次まで。(27名)

上下水道局水道技術職員派遣。(3名)

市民病院の放射線技師の派遣。(4名)

薬剤課の職員の派遣。(1名)

避難所運営職員派遣。(6名) 延べ人数は464名

兵庫県の要請を受けて宮城県の支援が決定

物資支援

ブルーシート1168枚、飲料水312本、給水袋1000枚を皮切りに、毛布、非常食、ビニールシート、敷きマット、トイレトーパー、灯油、軽油、ガソリン、紙おむつ、生理用品、カイロ、生活用品、粉ミルク、防寒具など

住宅支援

特定優良賃貸住宅の期間限定無料提供

義援金

みなさまの暖かいご支援により、川西市受付義援金総額が2,000万円を超えました。(4月21日現在)

その内、議会より、義援金を100万円拠出することも決まりました。

官・民を問わず、すべてのみなさまの思いが形となり思いやりに、心が心づかいになっています。何かしてあげたい、何かできないだろうかという気持ちを、様々な立場、状況の中でがんばっている人々たちへのエールにして頂ければと願います。

ごあいさつ

昨年10月17日の市議会議員選挙におきまして、みなさまのお力で、初めての当選をさせていただきました。ひとの繋がりの大切さを痛感するとともに、その想いに応えるべく日々勉強中です。

改めて自分の未熟さや知識不足を認識しているところですが、まずは「知る」所から始めたいと思います。知らなければその先はありません。知り、考え、そして動く。みなさまのご要望・ご期待に応えてがんばってまいります。

主な活動の概要

表紙に記載の役職をさせて頂いております。本会議は今回で2回目となります。議会の会期中には、議会運営委員会、本会議、常任委員会、特別委員会という会議があります。また議員協議会という会議が別にあり、これから実施する様々な計画を協議しています。(私立川西病院事業経営改革プラン・川西市食育推進計画・中期財政収支計画など) だいたい1議会で30日程度です。

まちづくり調査特別委員会として本年2月に川西市の中央北地区に初めて実施される都市区画整理事業の先進例を学ぶために静岡県の静岡市清水区・掛川市に視察に行ってきました。他、議会改革のセミナー、特別支援教育コーディネーター会議などの勉強会にも参加中。



秋田修一後援会

TEL/FAX 072-758-2456

MAIL akita@carrot.ocn.ne.jp

<http://www.s-akita.jp>



川西の未来をともに創ろう!

川西市議会議員

**秋田修一
後援会便り**

vol.1



3月1日(火) 議場にて総括質問中

- 昨年 10月17日 初当選
- みんなの市政クラブ 会派を結成し幹事長に
- 議会運営委員会 委員
- 総務常任委員会 委員
- まちづくり調査特別委員会 副委員長
- 広報委員会 委員
- 都市計画審議委員会 委員
- 善意銀行運営委員会 委員

などで頑張っています。

平成23年第1回川西市議会



定例会で市長の施政方針に対して、みんなの市政クラブ会派代表として総括質問をしました。

(雨天にもかかわらず、4名の秋田応援団が傍聴に来てくださいました。)

施政方針

元気でうるおいのある オンリーワンのまちづくり

～地域分権元年 新たなる挑戦～

のスローガンの下、大塩市政2期目が始まりました。これからの川西市をどのようにしていくのか、何をを目指すのかについて、いくつかの質問をしました。そのやりとりについてご報告します。



Q：地域分権元年と位置づけられ、地域力を高めることを目指す中で、地域の課題とは？

その課題解決のために一定権限・財源を地域に委譲する地域分権制度とは？



A：人々が住み、学び、働くそれぞれの地域において、変化を続ける社会や多様な価値観の中で、様々な課題が生じます。その解決を単に地域に任せるというのではなく、一定の財源や権限を地域に委譲することにより、“市民一人一人がまちづくりの主体である”という意識を醸成し、行政はそのコーディネート役を担う地域力の向上を目的としています。今後、その推進計画を作り、総合計画に盛り込んでいきたいと考えています。



Q：市役所が真に市民にとって役に立つ所となるために導入された行政経営品質向上プログラムをどう考えているのか？



A：本来は企業が実施するものですが、行政職員に経営・コスト・顧客サービスの意識を高め、行政の組織力を向上させることを目的としています。顧客すなわち市民のみなさんに満足いただけるように、あらゆる角度から課題を出して、職員の創意工夫やチームによる取り組みによる改善をはかっていきます。



Q：行財政運営について、予算編成にあたっての税金の徴収の現状について？



A：行政経営品質向上プログラムのチーム活動の発表会で、市長賞として選ばれた「目指せ徴収率100%」の取り組みにより兵庫県下の徴収率の増加率が1位となりました。コンビニでの支払いも可能となり、率だけでなくスピードも格段に上がりました。本年度より、保育料もコンビニで支払えるようするなど、市民ニーズに即した徴収をはかります。また、“滞納対策課”の設置により、未払い・長期滞納の問題を解決すべく日々取り組んでいます。

議席番号は7番です。会派ごとの配置になっており、最前列なので私の真ん前に大塩市長が座っています。



総括質問の特集です。



Q：地域活力とまちのにぎわい創出の観点から地域に根差した商業の活性化・振興・企業誘致などをどう図っていくのか？



A：昨年、「中心市街地活性化のプラン」が内閣府の認定を受けました。同協議会を中心としてさまざまな事業を展開しながらまちの活性化を目指していきます。また、中央北地区も土地区画整理事業として県に認定され、行政組織も中央北整備部として独立をし、取り組んでまいります。また、企業誘致などはこれから検討をしてまいります。そのためにも計画づくりをすすめます。



Q：教育において、「きんたくん学びの道場」では何をするのか、その詳細について問う。



A：川西市が実施している習熟度調査の結果より、生活習慣、学習習慣がいかに学力に影響するかが課題として明確になりました。小学校3～4年生の和差積商の複合式など、特につまずきの多い時期に放課後などの時間を使って先生を特別に配属することにより、しっかりとした基礎づくりを図り、学力の向上を目指してまいります。全校というわけにはまだいきませんが、試験的に導入し、その成果をみていきます。